

大会速報 1日目

ついに開催された2015年度第13回全日本学生フォーミュラ大会。この1年間の集大成を發揮する場、小笠山総合運動公園にやってきました。目標の10位以内の成績が残せるように全力で挑んでゆきます。

本日は突発的な豪雨に見舞われましたが、今年度からピットが屋根のあるエコパスタジアム外周となったため、ほぼ影響を受けずに日程を進めることができました。

9時半ごろに現地入りし、開会式後にピットの設営と車両の組上げ行い、最初の審査である車検に臨みました。1日目に車検を受けることができるのはおよそ上位30校までであり、カーナンバー20である私たちはこの日に車検を受けることができました。

車検は試走会のとく比べるとかなり厳密な検査となり、各制作担当者が固唾を飲んで見守る中、4点の軽微な問題を指摘されましたが、すぐに修正して再車検をパスすることに成功しました。指摘された点については次年度の製作に活かしてゆく所存です。

次にドライバーの脱出試験を行いました。この試験ではドライバーが走行時と同じ状態の車両から5秒以内で脱出できるか、コントロールタワーから提示されるフラッグの意味を理解しているかを試すもので、これに合格できないとドライバーは動的審査に出ることができません。この試験の結果、八島、金野、新沼、野崎がこの試験を合格しました。

予定では重量測定、チルト(車両傾け)試験まで行う予定でしたが時間切れとなり、本日は以上で終了となりました。2日目はデザイン、コストなどの静的審査の続きとなります。明日の速報も是非ご覧ください。

